

令和元年度千葉県糖尿病性腎症重症化予防対策事業取組方針

1 千葉県糖尿病性腎症重症化予防対策推進検討会

年 2 回開催(8月 1 日 2月6日)

課題及び推進に向けた方策検討のため、各関係機関・関係団体の取組みを共有し、市町村はじめ県内保険者の進捗状況を把握する。

2 保険者の取組推進

➤課題① ➤課題② ➤課題③ ➤課題⑥

(1)プログラム参加者を増やすため、プログラム対象者向け啓発物資「あなたのための糖尿病ブックレット」作成し、市町村国保等保険者から配付する。【県】

県は説明会を開催し、活用方法の周知を図る。

(2)地域における取組好事例の収集・発信【県・市町村・医師会】

県が市町村国保とかかりつけ医や地区医師会との連携事例を把握し、好事例を集め、発信する。

(3)対象者抽出に関する支援(KDBシステム)【国保連】

国保連は改修した KDB システムの説明会を開催。市町村に出向き説明するなど活用推進を図る。

(4)保健指導従事者研修会(市町村や委託事業所の保健師等対象)【県】

実生活に即した効果的な保健指導、治療中断をさせないための支援方法等保険指導(栄養・生活改善指導)の質の向上を図るための研修会を 3 回実施。

3 かかりつけ医・医師会の、関係機関との連携推進

➤課題④ ➤課題⑤

(1)連携しやすい“しくみづくり”「かかりつけ医向け重症化予防対策案内」【県・医師会】

- ・かかりつけ医が重症化予防対策の取組(特定検診やレセプトから抽出する基準、腎機能検査、専門医紹介基準、保健指導参加勧奨)を患者に説明し、治療継続・保険指導参加の意識づけを行う際に活用いただく。
- ・かかりつけ医に活用してもらうための周知方法を検討し、配付する。

(2)検査機関等への依頼【県医師会・糖尿病対策推進会議】

e-GFR 算定(血清クレアチニンと年齢)、尿中アルブミン排泄量算出(尿中アルブミン÷尿中クレアチニン)等のワンストップオーダー化の依頼

(3)地域における取組好事例の収集・発信【県・医師会】

県は県医師会を通じ、受診勧奨先医療機関の登録など、地区医師会での取り組み状況を把握する。

(4)お薬手帳に貼付する腎機能低下シールの必要性を検討【県・薬剤師会】

薬剤師や薬局から主治医へ腎症患者に対する禁忌薬や減薬などに関する疑義照会に活用するための e-GFR シールの必要性・周知方法を検討する。

(5)県医師会報でのシリーズ掲載により、受診勧奨や腎専門医紹介基準の周知【県医師会】

(6)H30～31 年度、地区医師会圏域ごとの研修会でプログラム周知と保険者の取組への協力・連携を図る。【糖尿病推進会議・県医師会】

(7)CDE-Chiba の養成【糖尿病推進会議】

4 実績・評価等

(1)「市町村国保保険者努力者支援制度達成状況調査」 【県保険指導課】

(2)「保険者取組調査(県内保険者に県プログラムに準じた取組調査)」

【県健康づくり支援課】